

平成26年度 大阪大学大学院科目等履修生高度プログラム

プログラム名称	和文	言語情報処理の手法と展開		
	英文	Language informatics: Theory and practice		
提案(幹事)部局	部局名	言語文化研究科		
	実施責任者 (所属・職名・氏名)	言語文化研究科・言語文化専攻・准教授・田畑 智司		
連携部局	なし			
修了要件単位数	8単位以上		履修対象者	社会人
履修期間	1年			
プログラム概要 及び教育目標	<p>情報メディアとしてのパーソナルコンピュータ、インターネットの普及により、文書・資料の電子化が急速に進み、電子テキストの量は爆発的に増大しています。これにともない、膨大な自然言語データの中から有益な情報を効率的に抽出するための情報マイニング技術の開発が学界のみならず産業界においても求められています。大規模な自然言語データを分析・活用するためには、従来の言語学、文献学の理論・方法論に加え、情報工学、統計数理学、行動科学など関連領域の知見を統合した学際的なアプローチが必要となります。</p> <p>そこで、本プログラムでは、自然言語処理とコーパス言語学研究を二本の柱として、それぞれの基礎理論と応用実践の方法論を有機的に組み合わせて教授します。自然言語処理では、情報工学の基礎理論から、形式言語理論や形式論理に基づいた統語処理・意味処理・談話処理について学びます。さらに、自然言語処理モデルを計算機に実装するためのプログラミングや、言語処理ツールを駆使する技法を習得します。コーパス言語学研究では、コーパスデザインに関する理論や、TEI (Text Encoding Initiative:言語データ電子化のため国際共通規格)、言語データ解析のための統計数理モデルに関する講義を行うとともに、実践的なコーパス分析の演習を行います。当プログラムが提供するコースワークを通して、受講生は、膨大な自然言語データの中から自分や社会のニーズに合致した情報の鉱脈を掘り当て活用する高度な言語情報処理能力を修得できるでしょう。</p>			
プログラム概要 (英文)	<p>Computers are coming to play a steadily more prominent role in the various fields of modern scholarship, including, linguistics, literature, and media and social studies. The goal of this programme is to raise awareness of how we can apply digital technologies in humanities studies. The programme is made up of one module for natural language processing and three modules for corpus linguistics. The course on natural language processing (NLP) will provide a general introduction to the state of the art in NLP with hands-on exercises in programming. The courses on corpus linguistics will cover topics such as corpus design/creation/management, query languages, statistical text mining, and text analysis. Hands-on exercises will provide an opportunity for participants to acquire practical skills by trying out some of the resources and techniques demonstrated in the lectures. Discussion sessions will be held to complement the lectures and exercises, through which participants will have a chance to consolidate what they have learned in the programme.</p>			
履修資格・条件	特になし			
前提知識の要否・目安	特になし			
特記事項	プログラムに該当する授業の内容は、KOANのシラバスと各授業の第1回目にガイダンスがありますので、それを参考にしてください。			

構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数		年間 時間数	開講学期	開講部局(課程)	備考
		必修	選択				
300319	自然言語処理A		2	30	1	言語文化研究科 (博士前期)	
300320	自然言語処理B		2	30	2	言語文化研究科 (博士前期)	
300311	コーパス言語学研究A		2	30	1	言語文化研究科 (博士前期)	
300312	コーパス言語学研究B		2	30	2	言語文化研究科 (博士前期)	
300315	コーパス言語学研究A		2	30	1	言語文化研究科 (博士前期)	
300316	コーパス言語学研究B		2	30	2	言語文化研究科 (博士前期)	
300349	コーパス言語学研究A		2	30	1	言語文化研究科 (博士前期)	
300350	コーパス言語学研究B		2	30	2	言語文化研究科 (博士前期)	